

## 8 仕事と治療の両立支援の取り組み

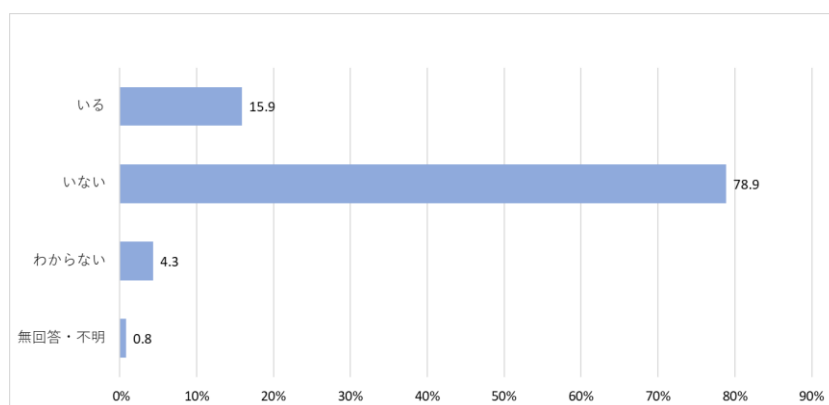
### (1) 長期治療を要する従業員への両立支援取り組み状況

傷病を抱え、長期治療を要する労働者の中には、働く意欲や能力があるにもかかわらず、通院や治療と仕事の両立が難しく、就労の継続や復職が困難になる場合がある。傷病を抱える労働者の健康に配慮した職場づくり、治療と仕事の両立に向けた支援体制の整備が重要となっている。

#### ①長期治療を要する疾病のために療養した従業員の割合

長期治療を要する疾病のために療養した従業員の割合を見ると、「いる」とした事業所は 15.9%、「いない」とした事業所は 78.9%となっている。【図 41】

【図 41】 長期治療を要する疾病のために療養した従業員の割合



#### ②治療と仕事を両立させるための支援・制度

治療と仕事を両立させるための支援・制度について、その取り組み内容については「職場復帰前に本人と面談を実施している」が 36.9%、「体調を考慮した配置転換(職場、職種等の変更)を行なっている」が 34.0%となっている反面、「対応していない」が 22.4%となっている。【図 42】

【図 42】 治療と仕事を両立させるための支援・制度

